

抗がん剤治療を受けられる患者さん、ご家族の方へ

抗がん剤は、がん細胞に効果がありますが、正常な細胞にも攻撃するため様々な副作用が起こってきます。そのため、治療を受ける患者さんだけでなく、ご家族や職業的に抗がん剤を取り扱う医療スタッフにも影響があるとされています。



抗がん剤は、投与されてから体の外に排出されるまで、平均48時間かかるとされています。そのため、治療中や治療終了後48時間は、尿や便または嘔吐物の取り扱いに注意をする必要があります。

<対策の必要な期間>

治療中および治療終了後2日間

(抗がん剤が体の外に排出されるまで)

<排泄時の注意>

- トイレは尿が飛び散らないように、女性だけでなく男性も座ってしましょう。
- 排泄後は便座のフタを閉めてから、2回流しましょう。
- 尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーで綺麗に拭き取ってトイレに流しましょう。
- トイレ後は、石鹸を使って手を洗いましょう。

<ご家族が排泄物(尿・便・嘔吐物)を取り扱う時の注意>

- 手袋を使用して、直接手に触れることのないようにしましょう。
- また、オシメが濡れた時は、早めに交換するようにしましょう。
- 使用後のオシメやストーマ用品などは、2重にしたビニール袋に入れて、密閉してから廃棄して下さい。
- 排泄物を触ったあとは、必ず石鹸を使用して手を洗って下さい。
- 患者さんにご家族の洗濯物は分けて洗濯して下さい。
- 排泄物・嘔吐物が皮膚についたら、すぐに水道水でしっかり洗い流し、石鹸で洗いましょう。皮膚に異常が現れたら、すぐに医師または看護師に相談して下さい。

私たち医療スタッフは、抗がん剤を投与するときに、手袋・マスクを着用します。
ご了承ください。



<自宅での抗がん剤治療の注意>

- 自宅で持続注入の治療を受けられる方は、点滴ポンプ、注射器、など全てが医療廃棄物になります。自宅で廃棄せずに、専用の容器に入れて病院へ持参して下さい。
- 内服の抗がん剤は、直接手で持たないようにしましょう。直接パッケージから口に入れるか、小皿や薬杯などに一度出してから、手に触れないようにして内服して下さい。直接、パッケージから内服する場合は、パッケージを一緒に飲んでしまわないように注意して下さい。
- 抗がん剤が目に入ったときは、すぐに流水で洗い流して下さい（15分以上）。痛みや見えにくさなど異常が現れたら、すぐに医師または看護師に相談して下さい。
- 抗がん剤が衣服やシーツなどに付着してしまったときは、手袋をはめて取り扱い、他の洗濯物とは分けて洗濯して下さい。



<緊急時の連絡について>

- 体調不良の場合などは下記にご連絡ください

電話：0868-21-8111（代表）

「化学療法センター」または各外来

平日 8:30～17:30

第1・3・5土曜日 8:30～13:15

「救急外来」

夜間及び休日

何かご心配なことがあれば、いつでもご相談下さい。

